

女はかねて奥のへやに人を忍ばせておいて、サムソンに言った、「サムソンよ、ペリシテびとがあなたに迫っています」。しかしサムソンはその弓弦を、あたかも亜麻糸が火にあって断たれるように断ち切った。こうして彼の力の秘密は知れなかった。

10

כְּזָבִים	אֵלַי	וַתְּדַבֵּר	בִּי	הִתְלַתְּ	הִנֵּה	שָׁמְשׁוֹן	אֶל-	דְּלִילָהּ	וַתֹּאמֶר	
嘘を	私に	そして-語った	私を	だました	見よ	サムソンに	(に)	デリラは	そこで-言った	
H3576	H0413	H1696			H2009	H8123	H0413	H1807	H0559	
			הֵאָסַר:	בְּמָה	לִי	נָא	הַנְּיָדָה-	עֲתָה		
			縛れる-のか	何に-よって	私に	どうか	教えて-ほしい	今こそ		
			H0631	H4100		H4994	H5046	H6258		

デリラはサムソンに言った、「あなたはわたしを欺いて、うそを言いました。どうしたらあなたを縛ることができるか、どうぞ今わたしに聞かせてください」。

11

לֹא	אֲשֶׁר	חֲדָשִׁים	בְּעֵבְתַיִם	יֶאֱסְרוּנִי	אֶסֹר	אִם-	אֵלֶיהָ	וַיֹּאמֶר	
まだ	(ところの)	新しい	綱で	縛るなら-私を	しっかりと	もし	彼女に	そこで-言った	
H3808		H2319	H5688	H0631	H0631		H0413	H0559	
	הָאָדָם:	כְּאֶחָד	וַתְּיַיֵּתִי	וַתְּחַלִּיתִי	מִלְאָכָה	בָּהֶם	נִעְשָׂה		
	普通の-人に	一人の-ように	そして-なる	すると-弱くなり	仕事に	それらで	使われた-ことが		
	H0120	H0259	H1961		H4399				

サムソンは女に言った、「もし人々がまだ用いたことのない新しい綱をもって、わたしを縛るなら、弱くなってほかの人のようになるでしょう」。

12

אֵלָיו	וַתֹּאמֶר	בָּהֶם	וַתֹּאסְרֶהוּ	חֲדָשִׁים	עֲבָתַיִם	דְּלִילָהּ	וַתִּקַּח	
彼に	そして-言った	それらで	そして-縛った-彼を	新しい	綱を	デリラは	そこで-取った	
H0413	H0559		H0631	H2319	H5688	H1807	H3947	
	בְּחֵדָר	יָשָׁב	וְהָאָרֶב	שָׁמְשׁוֹן	עָלֶיהָ	פְּלִשְׁתִּים		
	部屋に	座っていた	しかし-待ち伏せの-者が	サムソンよ	あなたの-上に	ペリシテ人が		
	H2315	H3427	H0693	H8123		H6430		
		כְּחוּט:	זְרַעְתִּיו	מֵעַל	וַיִּנְתְּקֵם			
		糸の-ように	腕から-彼の	(から)	すると-引きちぎった-それらを			
		H2339	H2220		H5423			

そこでデリラは新しい綱をとり、それをもって彼を縛り、そして彼に言った、「サムソンよ、ペリシテびとがあなたに迫っています」。時に人々は奥のへやに忍んでいたが、サムソンはその綱を糸のように腕から断ち落した。

13

וַתְּדַבֵּר	בִּי	הִתְלַתְּ	הִנֵּה	עַד-	שָׁמְשׁוֹן	אֶל-	דְּלִילָהּ	וַתֹּאמֶר	
そして-語った	私を	だました	今まで	(まで)	サムソンに	(に)	デリラは	そこで-言った	
H1696			H2008	H5704	H8123	H0413	H1807	H0559	
וַתִּזְכֹּר	אִם-	אֵלֶיהָ	וַיֹּאמֶר	הֵאָסַר	בְּמָה	לִי	הַנְּיָדָה	כְּזָבִים	אֵלַי
織るなら	もし	彼女に	そこで-言った	縛れる-のか	何に-よって	私に	教えよ	嘘を	私に
H0707		H0413	H0559	H0631	H4100		H5046	H3576	H0413
			הַמִּסְכָּת:	עִם-	רֹאשִׁי	מִחֻלְפוֹת	שִׁבְעַ	אֶת-	
			織物と	(と-共に)	私の-頭の	房を	七つの	(を)	
			H4545			H4253	H7651	H0853	

そこでデリラはサムソンに言った、「あなたは今まで、わたしを欺いて、うそを言いましたが、どうしたらあなたを縛ることができるか、わたしに聞かせてください」。彼は女に言った、「あなたももし、わたしの髪の毛七ふさを機の縦糸と一緒に織って、くぎでそれを留めておかなければ、わたしは弱くなってほかの人のようになるでしょう」。そこで彼が眠ったとき、デリラはサムソンの髪の毛、七ふさをとって、それを機の縦糸に織り込み、

וַתִּתְקַע בְּיָתֶד אֲלֵיוּ וַתֹּאמֶר אֵלָיו פְּלִשְׁתִּים עָלַי שָׁמֹן
 14 杭で そして-打ち込んだ 彼に そして-言った 彼に そして-言った サムソンよ あなたの-上に
 H3489 H8628 H0413 H0559 H6430 H8123

וַיִּקַּץ מִשְׁנָתוֹ וַיִּקְּעֵהוּ אֶת־הַיָּתֶד וְהָאָרֶג וְאֶת־הַמְּסֻכָּת:
 すると-目を覚ました 眠りから-彼の (を) そして-引き抜いた 織り機と 杭と 織物を
 H3364 H8142 H5265 H0853 H3489 H0708 H0853 H4545

くぎでそれを留めておいて、彼に言った、「サムソンよ、ペリシテびとがあなたに迫っています」。しかしサムソンは目をさまして、くぎと機と縦糸とを引き抜いた。

וַתֹּאמֶר אֵלָיו אֵיךְ תֹּאמַר תֵּאֱמַרְתִּיךָ אִין אֶתִּי זָה
 15 そこで-言った 彼に どうして 言えるのか 愛していると あなたの-心が ない 私と-共に もう
 H0559 H0413 H0559 H0157 H0369 H0854 H2088

שְׁלֹשׁ פְּעָמִים הִתְלַחֵבְתִּי בְּיָ לֹא הִנְדַּתְתִּי לִי בְּמָה כַחֲךָ
 度も三 私を だました そして-ない 教えて-くれない 私に 何に-よって あなたの-力が
 H7969 H6471 H3808 H5046 H4100

גָּדוֹל:
 大きいのか

そこで女はサムソンに言った、「あなたの心がわたしを離れているのに、どうして『おまえを愛する』と言うことができますか。あなたはすでに三度もわたしを欺き、あなたの大力がどこにあるかをわたしに告げませんでした」。

וַיְהִי כִּי־הִצִּיקָהּ לּוֹ בְּרִבְרִיָּה כָּל־הַיָּמִים וַתֹּאמְרָה
 16 そして-あった せまった (ので) 彼に 言葉で-彼女の 毎 日々 そして-催促した-彼を
 H1961 H6693 H3605 H3117 H0509

וַתִּקְצַר נַפְשׁוֹ לְמוֹת:
 そして-疲れ果てた 魂が-彼の 死ぬほどに
 H5315 H4191

女は毎日その言葉をもって彼に迫り促したので、彼の魂は死ぬばかりに苦しんだ。

וַיִּגְדַּר לָהּ אֶת־כָּל־לִבּוֹ וַיֹּאמֶר לָהּ מוֹרָה לֹא
 17 そこで-打ち明けた 彼女に (を) すべて 心を-彼の 彼女に 彼女に 一度も
 H5046 H0853 H3605 H0559 H4177 H3808

עָלָה עַל־רֹאשִׁי נִיר אֱלֹהִים אֲנִי מִבְּטֵן אִמִּי
 上がった-ことがない (の上に) 私の-頭に なぜなら ナジル人 神の 私は 胎から 母の
 H5927 H5139 H0430 H0589 H0990 H0517

אִם־גִּלְחֹתִי וְסָר מִמֶּנִּי כַחֲוִי וְחָלִיתִי וְהָיִיתִי כְּכָל־אָדָם
 剃られたら もし すると-去り 私から 力が-私の 私から すべて-のように
 H1548 H5493 H1961 H3605

הָאָדָם:
 人の
 H0120

彼はついにその心をことごとく打ち明けて女に言った、「わたしの頭にはかみそりを当てたことはありません。わたしは生れた時から神にささげられたナジルびとだからです。もし髪をそり落されたなら、わたしの力は去って弱くなり、ほかの人のようになるでしょう」。

וַתֵּרָא וַתֵּרָא וַתֵּרָא וַתֵּרָא וַתֵּרָא וַתֵּרָא וַתֵּרָא וַתֵּרָא
 すると-見た デリラは 打ち明けた (ことを) 彼女に (を) すべて 心を-彼の

H3605

H0853

H5046

H1807

H7200

וַתֵּשֶׁלַח וַתִּקְרָא וְלִסְרֵי וְלִפְלִשְׁתִּים וְלֵאמֹר וְעָלוּ וְהִפְעֵם
 そこで-遣いを-送り そして-呼んだ 領主たちを ペリシテ人の 言って 上って-来てください 今度こそ

H6471

H5927

H0559

H6430

H7121

H7971

כִּי הִגִּיד לְהַן (לִי) אֶת-כָּל-לְבוֹ וְעָלוּ אֵלֶיהָ
 打ち明けた なぜなら 私に (私に) (を) すべて 心を-彼の 彼女のもとに

H0413

H5927

H3605

H0853

H5046

וַיַּעֲלוּ וַיִּקְרָא וְלִפְלִשְׁתִּים וְסֵרְנֵי בְיָדָם
 そして-持って-来た ペリシテ人の 領主たちが 手を-彼らの 銀を

H3027

H3701

H5927

H6430

デリラはサムソンがその心をことごとく打ち明けたのを見、人をつかわしてペリシテびとの君たちを呼んで言った、「サムソンはその心をことごとくわたしに打ち明けましたから、今度こそ上っておいでなさい」。そこでペリシテびとの君たちは、銀を携えて女のもとに上ってきた。

וַתִּשְׁנֶהוּ וְעַל-בְּרִכְיָה וַתִּקְרָא לְאִישׁ וַתִּגְלַח אֶת-
 そして-眠らせた-彼を (の上に) 膝の上-彼女の (を) そして-剃らせた

H0853

H1548

H0376

H7121

H1290

H3462

שִׁבְעַת מַחְלָפוֹת רֹאשׁוֹ וַתְּחַלֵּץ וְלַעֲנוֹתוֹ וְיָסַר כְּחוֹ מֵעָלָיו
 七つの 房を 頭の-彼の そして-始めた 苦しめることを-彼を 去って-彼の 彼から

H5493

H4253

H7651

女は自分のひざの上にサムソンを眠らせ、人呼んで髪の毛、七ふさをそり落させ、彼を苦しめ始めたが、その力は彼を去っていた。

וַתֹּאמֶר וְהִיא מִשְׁנָתוֹ וַיִּקַּץ וַתִּשְׁמָעוּן וְעָלְיָהּ
 そして-言った 彼が ペリシテ人が あなたの-上に 眠りから-彼の すると-目を覚ました

H8142

H3364

H8123

H6430

H0559

וַיֹּאמֶר וַיֵּצֵא וְכַפְעָם וְכַפְעָם וְהוּא לֹא
 そして-言った 出て-行こう いつもの-ように 何度も かつ-振り払おう しかし-彼は なかった

H3808

H1931

H5287

H6471

H6471

H3318

H0559

וַיֵּדַע וְכִי יְהוָה וְסָר מֵעָלָיו
 知ら (ことを) 主が 去った 彼から

H5493

H3068

H3045

そして女が「サムソンよ、ペリシテびとがあなたに迫っています」と言ったので、彼は目をさまして言った、「わたしはいつものように出て行って、からだをゆすろう」。彼は主が自分を去られたことを知らなかった。

וַיִּאחֲזֶהוּ וַיִּנְקְרוּ אֶת-עֵינָיו
 そこで-捕らえた-彼を (を) そして-えぐり出した

H0853

H5365

H6430

H0270

וַיִּוְרֶדוּ וְעֹזְתָה וַיִּאסְרוּהוּ וְנִיחָיו
 そして-連れ下った ガザに 彼を 縛った-彼を 青銅の-足かせで

H1961

H0631

H5804

H0853

H3381

וְהָאֲסוּרִים: (הָאֲסוּרִים) כְּבֵית טוֹחַן
 (囚人の) 家で ひき臼を-ひく-者と

H0631

H0615

H2912

そこでペリシテびとは彼を捕えて、両眼をえぐり、ガザに引いて行って、青銅の足かせをかけて彼をつないだ。こうしてサムソンは獄屋の中で、うすをひいていたが、

サムソンは自分の手をひいている若者に言った、「わたしの手を放して、この家をささえている柱をさぐらせ、それに寄りかからせてください」。

27
 וְהָבִיתָ מְלֵא הָאֲנָשִׁים וְהַנָּשִׁים וְשָׁמָּה כָּל סָרְנֵי פְּלִשְׁתִּים
 さて-家は 満ちていた 男たちと 女たちで そして-そこには すべての 領主たちが ペリシテ人の
 H1406 H7969 H0505 H0376 H0802 H3605 H6430
 וְעַל- הַגָּן כְּשֶׁלֶשֶׁת אֲלָפִים אִישׁ וְאִשָּׁה הָרְאִים בְּשָׁחוֹק שָׁמְשׁוֹן:
 そして-上に 屋根の およそ-三 千の 男と 女が 見ていた 見せ物を サムソンの
 H11406 H7969 H0505 H0376 H0802 H7200 H7832 H8123

その家には男女が満ち、ペリシテびとの君たちも皆そこにいた。また屋根の上には三千人ばかりの男女がいて、サムソンの戯れ事をするのを見ていた。

28
 וַיִּקְרָא שָׁמְשׁוֹן אֶל- יְהוָה וַיֹּאמֶר אֲדֹנָי יְהוִה זְכַרְנִי
 そして-叫んだ サムソンは (に) 主に 神よ 主よ 思い出してください-私を
 H7121 H8123 H0413 H3068 H0559 H136 H3069 H2142
 נָא וַחֲזַקְנִי וְחַזְקֵם אַתָּה הַפַּעַם הַזֶּה הָאֱלֹהִים
 どうか そして-強めてください-私を どうか 今度 ただ どうか 神よ
 H4994 H2388 H4994 H0389 H6471 H2088 H0430
 וַאֲנַקְמָה וְנָקַם- אַתָּה מִפְּלִשְׁתִּים:
 そして-復讐させてください 復讐を 一つの 二つの-ための 目の-私の ペリシテ人に
 H5358 H5359 H0259 H8147 H6430

サムソンは主に呼ばわって言った、「ああ、主なる神よ、どうぞ、わたしを覚えてください。ああ、神よ、どうぞもう一度、わたしを強くして、わたしの二つの目の一つのためにでもペリシテびとにあだを報いさせてください」。

29
 וַיִּלְפַּת שָׁמְשׁוֹן אֶת- וּשְׁנֵי עַמּוּדֵי הַתְּאֻדָּה אֲשֶׁר הִבִּיתָ נִכּוֹן
 そして-抱えた サムソンは (を) 二つの 柱を 中央の 家が (ところの) 支えられている
 H3943 H8123 H0853 H8147 H5982 H8432
 עָלֵיהֶם וַיִּסְמְךָ עֲלֵיהֶם אַחַד בְּיַמִּינוֹ וְאַחַד בְּשִׁמְאֹלָיו:
 それらの-上に そして-もたれかかった それらに 一つは 一つは 右手で-彼の 左手で-彼の
 H5564 H0259 H3225 H0259 H8040

そしてサムソンは、その家をささえている二つの中柱の一つを右の手に、一つを左の手にかかえて、身をそれに寄せ、

30
 וַיֹּאמֶר שָׁמְשׁוֹן תָּמוּת נַפְשִׁי עִם- פְּלִשְׁתִּים וַיִּט
 そして-言った サムソンは 死ぬ 私の-魂よ (と-共に) ペリシテ人と そして-傾けた
 H0559 H8123 H4191 H5315 H6430 H5186
 בָּכַח וַיִּפֹּל הַבַּיִת עַל- הַסְּרָנִים וְעַל- כָּל- הָעָם
 力を-込めて すると-倒れた 家は (の上に) 領主たちの-上に そして-上に 民の
 H5307 H3605
 אֲשֶׁר- בּוֹ וַיְהִי הַמָּוֶת וְאֲשֶׁר הִמַּיתָ בְּמוֹתוֹ
 (ところの) その-中の 死に-あった そして-あった 死んだ-者たちは 殺した (ところの) 死に-おいて-彼の
 H1961 H4191 H4191 H4191
 רַבִּים מְאֹדָּר הִמַּיתָ בְּחַיָּיו:
 (より) 殺した-者より 生きていた-間に-彼の 多かった
 H4191

「わたしはペリシテびとと共に死のう」と言って、力をこめて身をかがめると、家はその中にいた君たちと、すべての民の上に倒れた。こうしてサムソンが死ぬときに殺したものは、生きていたときに殺したものよりも多かった。

אָתוֹ	וַיִּשָּׂאוּ	אָבִיהוּ	בֵּית	וְכָל-	אָחָיו	וַיֵּרְדוּ		
彼を	そして-取り上げた	父の-彼の	家の	そして-すべての	彼の-兄弟たちと	そこで-下って-来た		
H0853	H5375	H0001		H3605	H0251	H3381		
בְּקִבְר	אֶשְׁתָּאֵל	וּבֵין	צְרָעָה	בֵּין	אוֹתוֹ	וַיִּקְבְּרוּ	וַיַּעֲלֵוּ	
墓に	エシュタオルに	(と)-間に	ツォルアと	間に	彼を	そして-葬った	そして-上って-行き	
H6913	H0847	H0996	H6881	H0996	H0853	H6912	H5927	
פ	שָׁנָה:	עֶשְׂרִים	יִשְׂרָאֵל	אֶת-	שָׁפַט	וְהוּא	אָבִיו	מְנוּחַ
(段落)	年	二十	イスラエルを	(を)	さばいた	そして-彼は	父の-彼の	マノアの
	H8141	H6242	H3478	H0853	H8199	H1931	H0001	H4495

やがて彼の身内の人たちおよび父の家族の者がみな下ってきて、彼を引き取り、携え上って、ゾラとエシュタオルの間にある父マノアの墓に葬った。サムソンがイスラエルをさばいたのは二十年であった。